

特定非営利活動法人磐田剣道連盟

加盟人数 22団体 420名
代表者 会長 寺田 廣之
創立年 昭和30年4月

【組織】

・組織の概要

会長 1人、副会長 1人
理事長 1人 理事 3人以上20人以内
(会長、副会長、理事長含む)
監事 1人以上

・組織の変遷

昭和30年4月 磐田市、福田町、竜洋町、豊田町、
浅羽町のエリアで発足。
平成16年5月27日 NPO認証
平成16年6月2日 法人登記
平成19年4月 市町村合併による枠組み再編によ
り浅羽剣友会が袋井剣道連盟に編
入し、豊岡地区が磐田剣道連盟管
内に編入。

・役員の変遷

初代会長 山下 貢(昭和30年～昭和42年)
第2代会長 山内克巳(昭和43年～昭和51年)
第3代会長 齊藤亮一(昭和52年～昭和55年)
第4代会長 鈴木雪雄(昭和56年～平成2年)
第5代会長 堀田 周(平成3年～平成13年)
第6代会長 寺田廣之(平成14年～現在)

・加盟団体(主な活動場所)

造士館(城山中学校内)
尚道館(磐田農高内)
竜門館(長野公民館体育館)
錬武館(田原公民館体育館)
福田剣友会(福田中学校内)
竜洋剣友会(竜洋西小学校内)
豊田北部少年剣道クラブ(豊田北部小学校内)
豊田南部少年剣道クラブ(豊田南小学校内)
豊岡南剣道教室(豊岡南小体育館)
豊岡東剣道教室(豊岡東小体育館)
豊岡北剣道教室(豊岡北小体育館)
古寿母道場(大藤地区)
各中学校剣道部
各高等学校剣道部

【現在の活動状況】

・小学生の剣道

少子化の影響を受け、剣道人口も年々減少して

いる。平成20年度の剣道連盟登録人数では、造士館が最も多く48名、ついで豊田北が28名、福田剣友会が21名となっているが、少ないところは10名以下で活動しているところも増えている。各地域の指導者、保護者の剣道人口増への取り組みと剣道連盟自らの剣道の普及事業の推進が課題となっている。

・中学生の剣道

磐田地区の中学校剣道は、静岡県内ではレベルが高い。平成11年の城山中女子全国ベスト8以降、平成12年福田中女子、平成13年磐田一中男子、平成16年磐田一中男子、豊岡中女子、平成19年豊岡中女子が全国中学校剣道大会出場、平成21年豊岡中女子が全国3位の偉業、と全国大会に出場し入賞を果たしている。これも地域の道場や指導教諭の日々の研究努力の成果である。

しかし、一方で剣道部の無い中学も多く、また部が存在しても、部員が少なく活動も停滞している中学もある。中学から新たに剣道を始める生徒の確保がどこの中学も課題となっている。

・高校生の剣道

平成12年～13年磐田西高女子は魁星旗争奪高校剣道大会(秋田県)で連続優勝を果たす。同13年同校女子は選抜3位、平成15年の静岡国体では、男女磐田西高を中心としたチームで優勝。平成16年インターハイでは安富清香(磐田西高)2位。平成20年インターハイでは磐田西高が男女ともベスト8。主な成績でも全国大会入賞が多々あり、静岡県屈指の全国レベルである磐田西高校剣道の底力が伺えた。

また、それを追う磐田東高校など他の市内高校剣道部もレベルを上げてきているが、一方、剣道を継続して続ける生徒が減ってきているのが大きな課題となっている。

・一般の剣道

磐田西高校顧問坂本崇教諭、磐田東高校顧問内田勝之教諭が揃って平成20年11月3日の全日本剣道選手権大会に参加したのは、本連盟にとっても画期的なこと。また、平成19年9月の全日本女子選手権では、磐田市在住横須賀高校の内田さくら教諭が準優勝を果たした。

一般では、高校、大学を通して活躍した選手が管内に戻り稽古を続けているケースが増えてきているが、指導者の育成や裾野拡大の意味でも、女性剣士を含めた一般剣道人口の拡大が課題となっている。

【主要事業】

・磐田剣道大会

平成21年度で46回目となった磐田剣道大会は、県西部でも有数の大会として例年盛大に開催している。参加チームは、小学生から一般まで、130チームを数え、特に一般男子の参加が増えている。

指導者や親の剣道を子どもが真剣な眼差しで見しており、相互に気の抜けないいい意味での刺激のある大会となっている。



【道場建設に向けて】

磐田剣道連盟では、平成15年12月に旧見付（一番町）の道場を閉鎖して以来、道場建設が大きな課題でありました。

平成16年5月27日NPO法人の認証を受け、その後道場建設用地の確保をあらゆるところに働きかけ、最終的には、市のご好意により、市内中央町中央公園地内に土地を借り受けられることとなり、建設の目途が立ちました。

平成19年10月に基本構想、その後道場建設委員会を立ち上げ、平成20年6月8日には、基本計画を策定いたしました。その後、平成20年8月の磐田剣道大会以後、各方面に協賛金のお願いをし、財源の確保を進め、平成21年4月には実施設計を固めることができました。



道場完成予想図

【新道場の概要】

- ・ 建築場所 磐田市見付2988番地内
(中央町中央公園地内)
- ・ 建物面積 440.96㎡ (剣道場2面)
- ・ 1階平屋建て
- ・ 構造 鉄骨造
- ・ 総工費 約4,000万円
- ・ 工事の経過
平成21年7月15日 入札
8月1日 契約
8月5日 地鎮祭
9月25日 建方
12月20日 竣工



地鎮祭

【磐田剣道連盟の課題と剣道の振興】

平成22年1月には新道場がオープンし、剣道普及・振興の拠点としての活用が期待される。

特に、若手指導者の育成をはじめ、一般の稽古場所が確保されることとなり、生涯スポーツの場として、幅広く活用されることも期待できる。

少子化をはじめライフスタイルの多様化により、剣道人口が年々減少する中で、各道場は会員の確保に苦慮している。

剣道連盟として、総合的な普及振興策を今後進めていくことが大きな課題であり、そのために、新道場の完成は明るい材料となっている。

【終りに】

体育協会が60周年を迎え、スポーツ団体の総括として、ますますご発展することを祈念いたします。

【事務局】

特定非営利活動法人

磐田剣道連盟事務局 高林要則 宅

磐田市富士見台12-1

TEL (Fax) 0538-32-4514